

Kingfisher News

新年に入り、朝晩の気温が一段と低くなるようになりました。しかし一時的に、日中の気温が3月の暖かさになることもあり、気候の不安定化が一層顕著になっています。

前回に続いて、広島県温暖化対策活動促進補助金を頂いて製作した、「気温上昇が原因と考えられる現象」を主題としたパネルの紹介をしたいと思います。

トピック

気温上昇が原因と考えられる現象（2）

今回は、「海面上昇の原因」についてです。

地球環境研究センターによると、温暖化で海面上昇が起きる原因として、「海洋の熱膨張」と「山岳氷河や氷床の融解」を挙げています。

水は熱せられると膨らむ特性があります。海水温が上がることで、海洋の内部が膨らんで水位が上がり、海面上昇につながります。例えば20℃の海水は、1℃上がるごとに体積は約0.025%膨張し、水深500mで2℃上がると水位が25m上昇することになります。

山岳氷河とは、極地等に降り積もった雪が固まって出来た氷の塊のことです。温暖化の影響で氷の塊が溶け、海に流れ出て水量を増やし海面上昇を起こします。

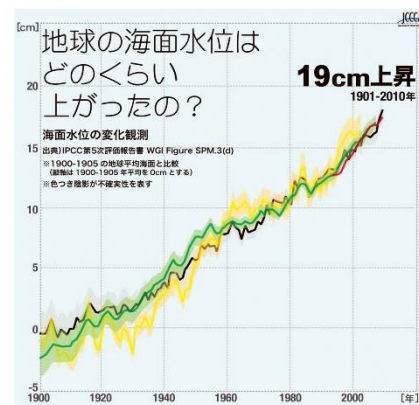
氷床とは、広大な大陸を覆うように発達した分厚い氷の塊のことで、地球上には南極大陸とグリーンランドに存在しています。その厚みは平均して2.45kmで、最も厚いところでは4kmあります。

グリーンランドでは近年、記録的な熱波に見舞われ、平均気温が例年より10℃以上高く、1日当たり約80億トンもの氷河が溶け出しています。グリーンランドの氷床がすべて消滅した場合、海面が6～7m高くなると発表している研究者がいます。

また、南極の氷河がすべてなくなった場合、現在より40～70m海面上昇すると考えられています。

気温上昇が原因と考えられる現象（2）

海面上昇が起きる原因



「海洋の熱膨張」による海面上昇

水は熱せられると膨らむ特性があります。海水温が上がることで、海洋内部が膨らんで水位が上がり、海面上昇につながります。例えば20℃の海水は1℃上がると体積は約0.025%膨張し、水深500mで2℃上がると水位が25cm上昇します。

「山岳氷河や氷床の融解」による海面上昇

グリーンランドでは近年、記録的な熱波に見舞われ平均気温が例年より10度以上高く、1日あたり約80億トンの氷床が溶けています。グリーンランドの氷床がすべて消滅した場合、海面は6～7m高くなると発表している研究者がいます。南極には、氷床の崩壊をせき止める氷河が存在しますが、温暖化の影響により消滅の危機にさらされています。もし南極の氷河がなくなり、これまで守られてきた氷床が崩壊した場合、現在より40～70m海面上昇すると考えられています。

活動予定

第22回地球温暖化防止パネル展：

2024年4月5日から4月18日フジグラン緑井4階 ギャラリー「passage」

活動報告

第21回地球温暖化防止パネル展：

2023年8月24日から8月30日イオンモール広島祇園2階 イオン店舗前

第20回地球温暖化防止パネル展：

2023年7月1日から7月17日福屋広島駅前店11階 レストスペース

詳しくはホームページをご覧ください。